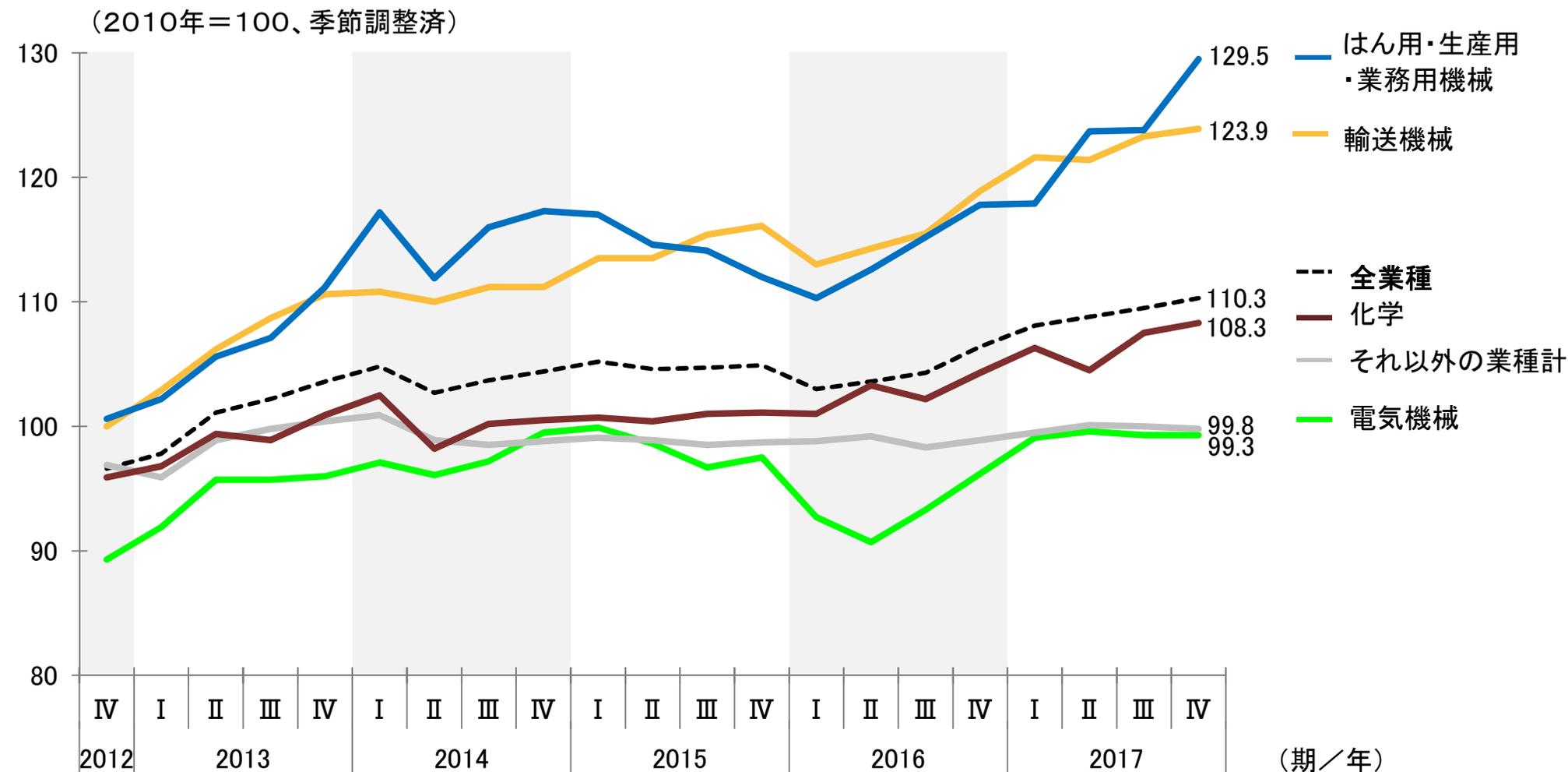


グローバル出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

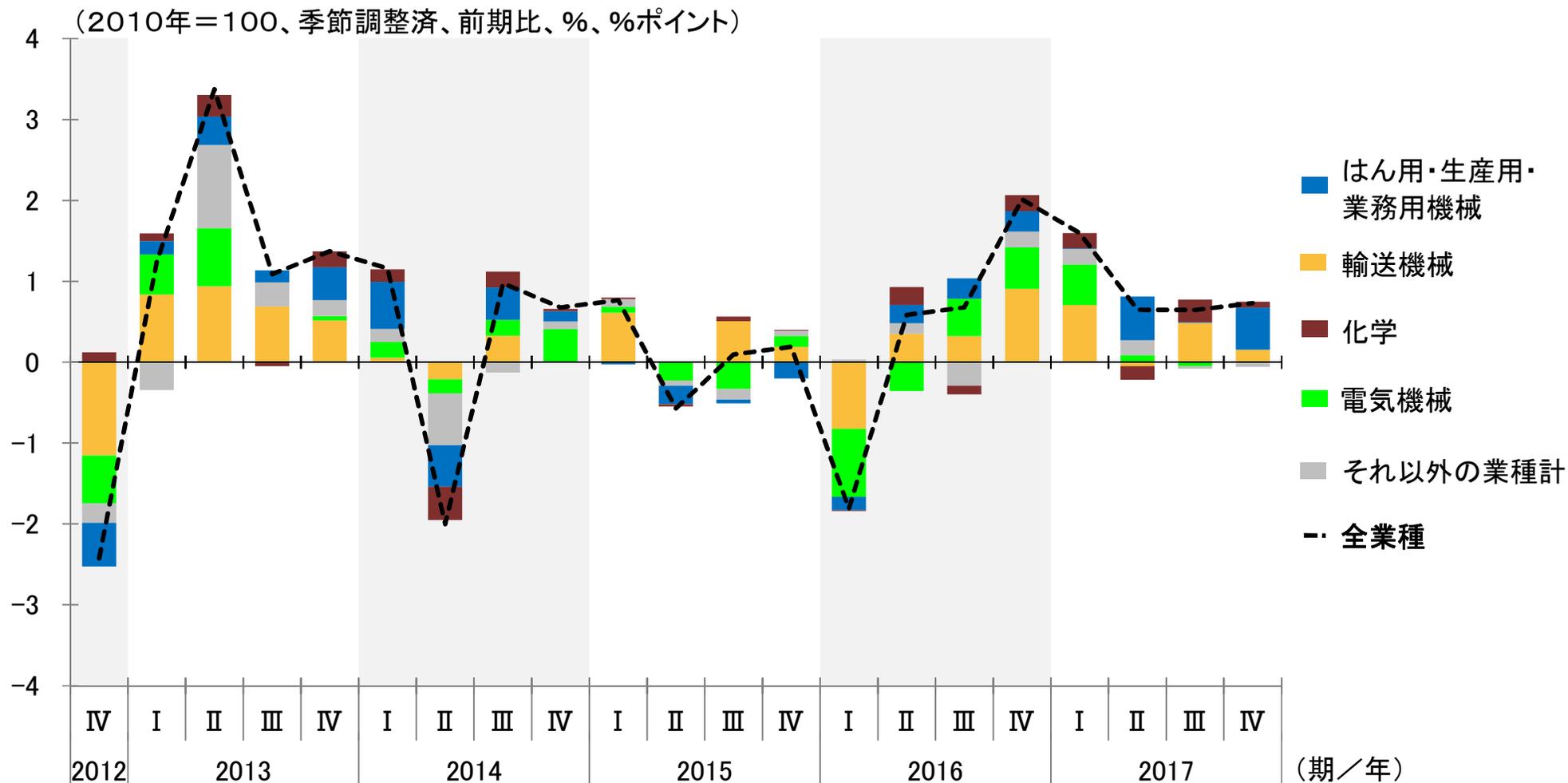
はん用・生産用・業務用機械工業（前期比4.6%上昇）、化学工業（同0.7%上昇）、輸送機械工業（同0.5%上昇）が前期比上昇。
一方、電気機械工業、「それ以外の業種」はほぼ横ばい。



※業種の内容については、スライド35の「用語の説明」を参照のこと。

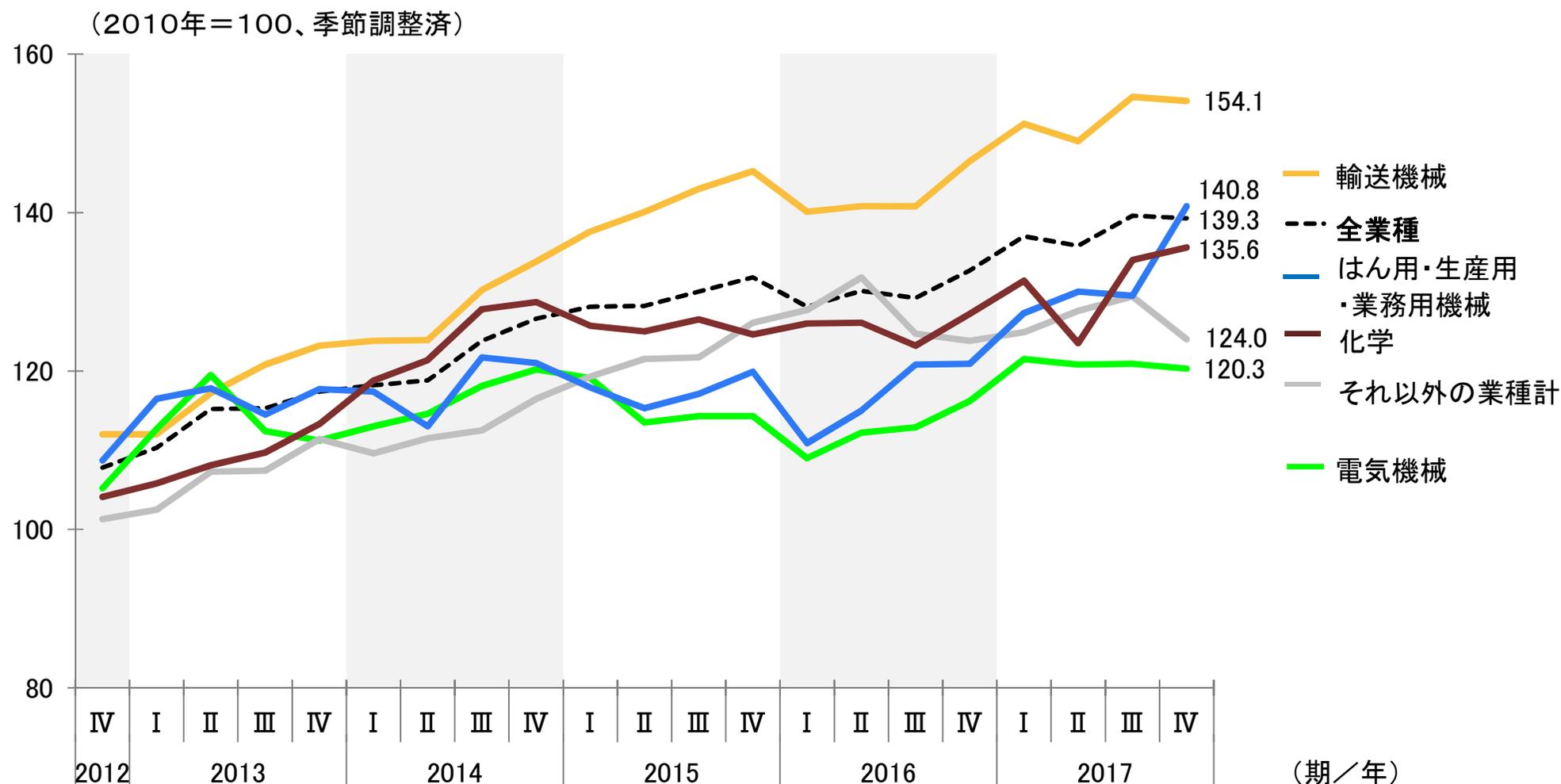
グローバル出荷指数の推移（前期比、業種別寄与度）

グローバル出荷全体の前期比上昇に対し、はん用・生産用・業務用機械の寄与が最も大きく、7期連続で前期比0.5%ポイントの上昇寄与。次いで、輸送機械工業が0.2%ポイントの上昇寄与。



海外出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

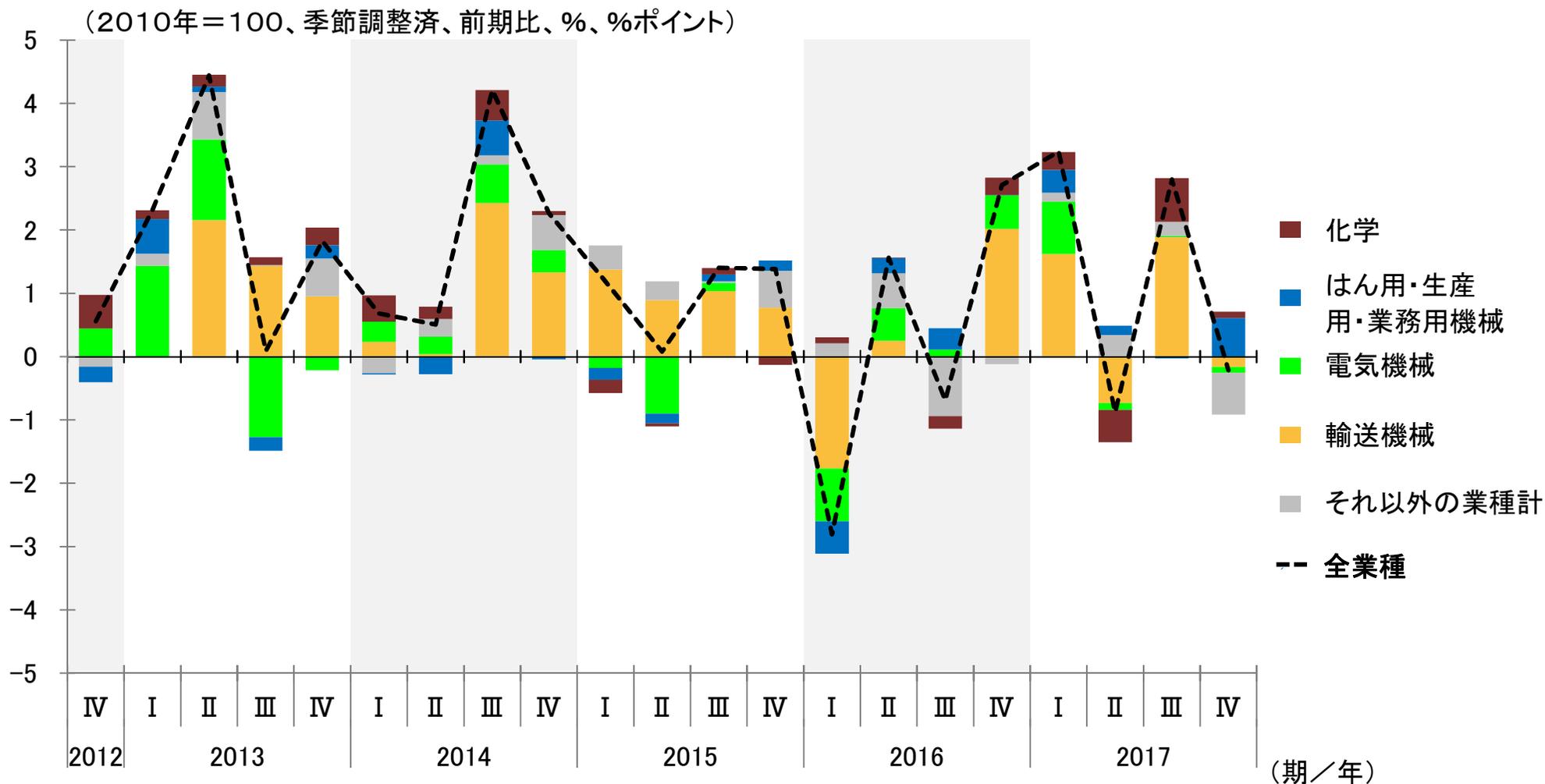
主要4業種のうち、はん用・生産用・業務用機械工業（前期比8.7%上昇）が大きく上昇したほか、化学工業（同1.2%上昇）が上昇。
一方、電気機械工業（前期比マイナス0.5%低下）、輸送機械工業（同マイナス0.3%低下）が低下。



※業種の内容については、スライド35の「用語の説明」を参照のこと。

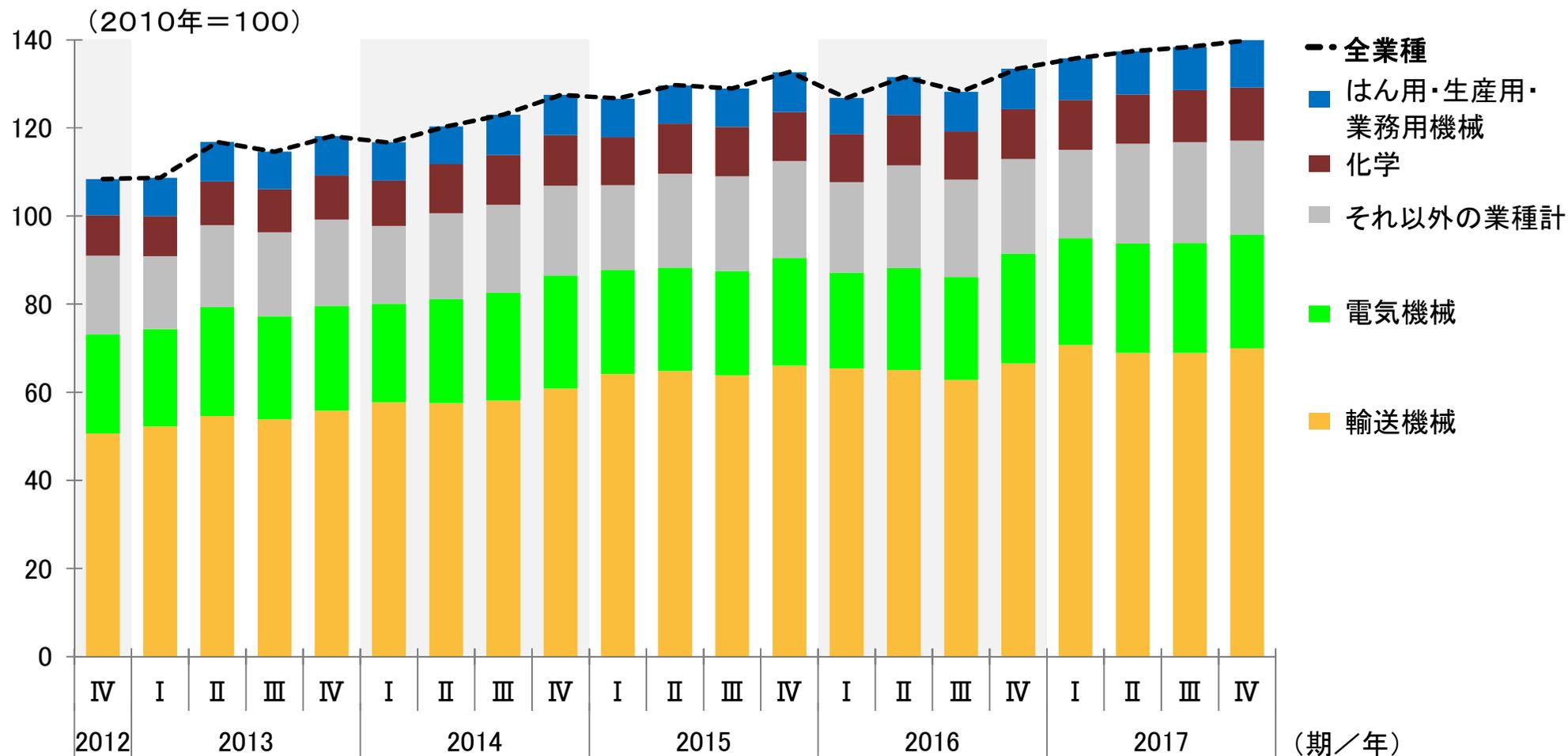
海外出荷指数の業種別前期比寄与度

海外出荷全体の前期比マイナス0.2%に対し、「それ以外の業種」がマイナス0.7%ポイントの低下寄与。次いで輸送機械工業がマイナス0.2%ポイントの低下寄与。



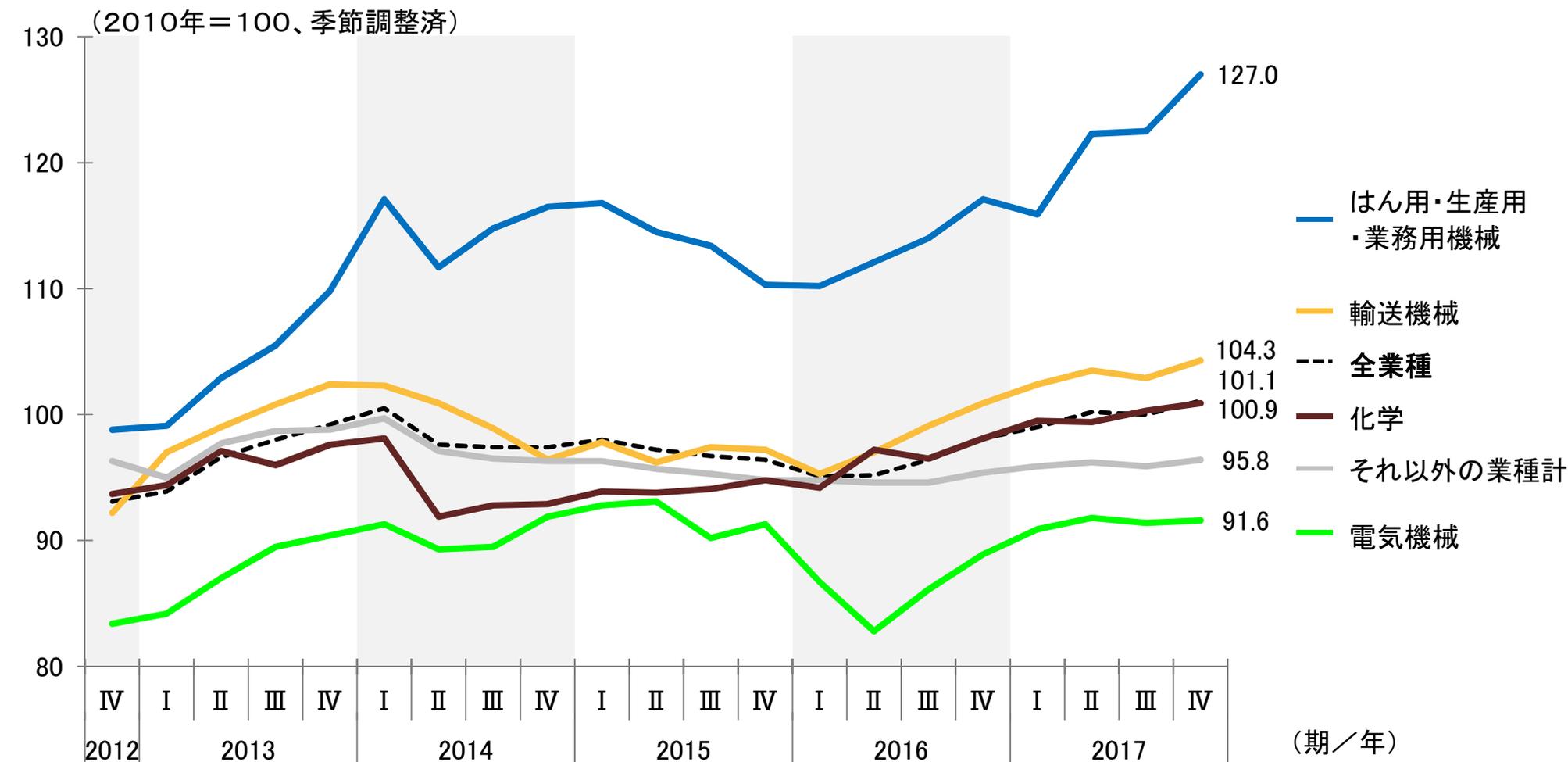
海外出荷指数（原指数）の業種別構成比

2017年第Ⅳ期の海外出荷指数においては、輸送機械工業の割合は、50.0%。これに次ぐのが、電気機械工業の18.4%。



国内出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

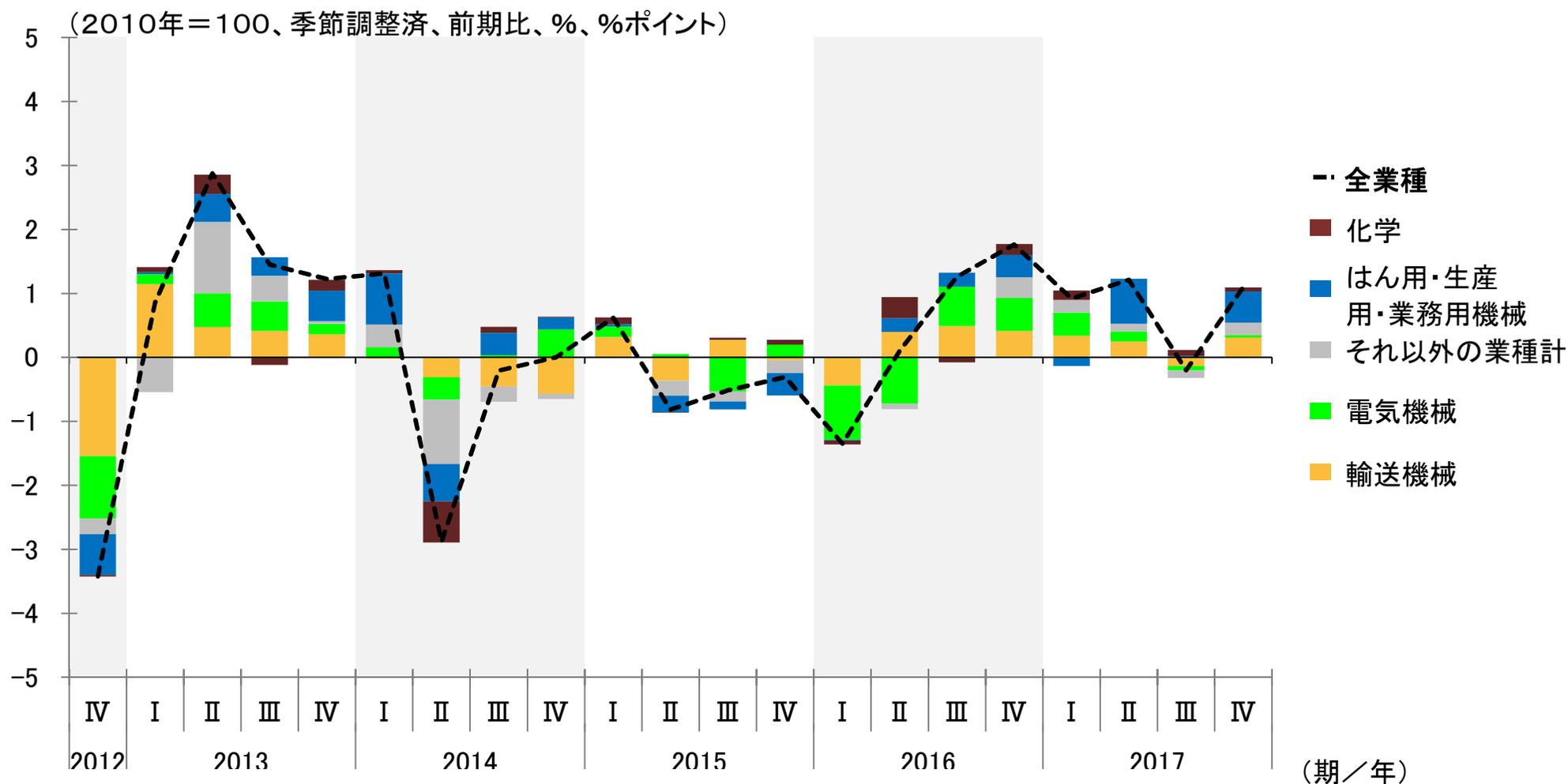
主要4業種は全て上昇。はん用・生産用・業務用機械工業（前期比3.7%上昇）、輸送機械工業（同1.4%上昇）、化学工業（同0.6%上昇）、電気機械工業（同0.2%上昇）。



※業種の内容については、スライド35の「用語の説明」を参照のこと。

国内出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

国内出荷全体の前期比 1.1% 上昇に対し、はん用・生産用・業務用機械工業が 0.5%ポイントの上昇寄与。次いで輸送機械工業が 0.3%ポイントの上昇寄与。



2017年Ⅳ期のグローバル化比率

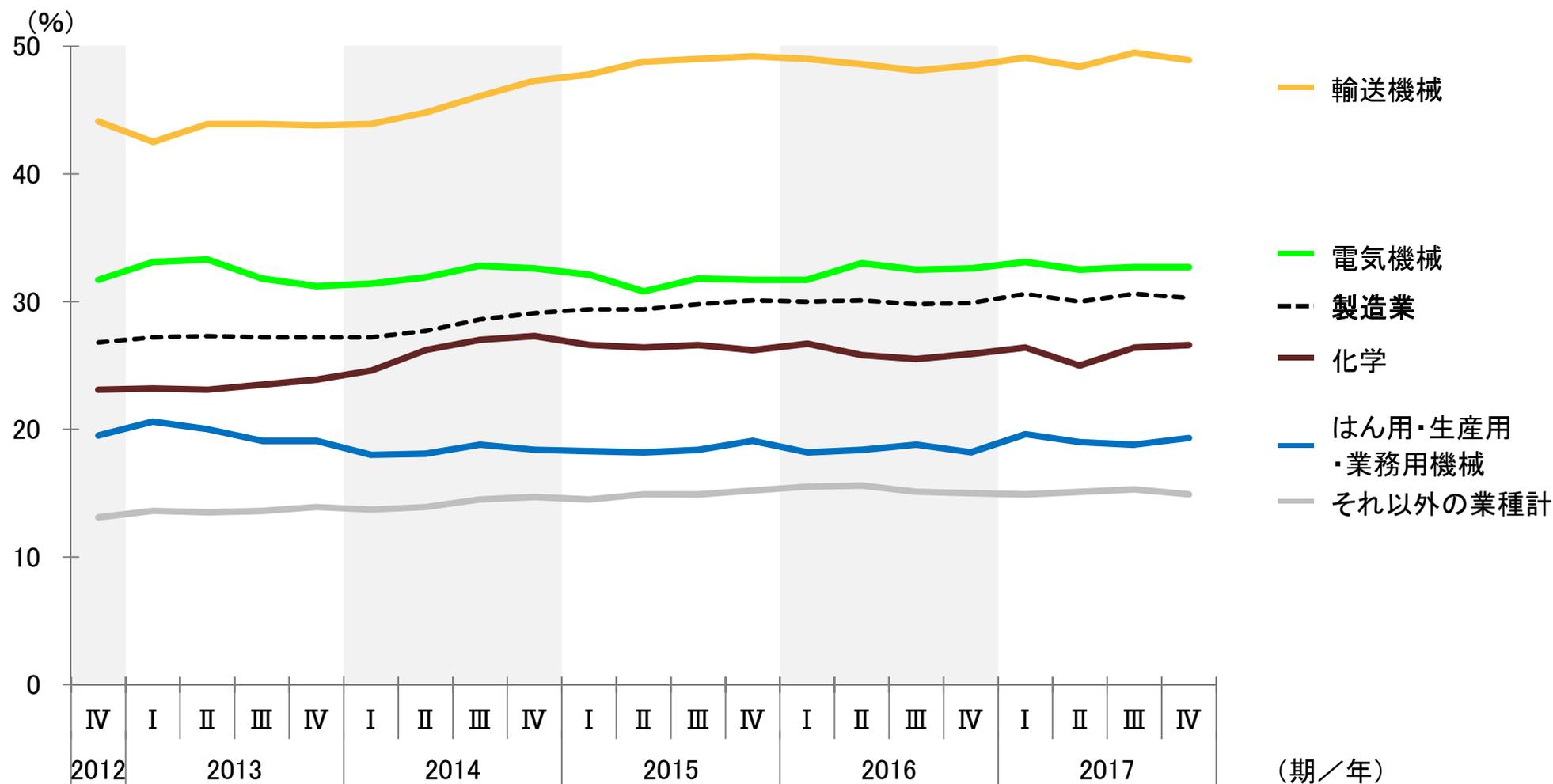
2017年第Ⅳ期の製造業出荷海外比率は、30.1%。
2017年第Ⅳ期の海外市場比率は、41.6%。
2017年第Ⅳ期の逆輸入比率は、25.7%。

注) 製造業出荷海外比率:日本国内の鉱工業の活動と日系現地法人活動の比率
海外市場比率:グローバル出荷のうち、海外市場に出荷される割合
逆輸入比率:日本の輸入のうち、日系現地法人の日本向け輸出の割合

	製造業計	輸送機械	はん用・ 生産用・ 業務用機 械	電気機械	化学	それ以外 の業種計
出荷海外比率	30.1%	48.7%	20.0%	33.0%	26.0%	14.7%
海外市場比率	41.6%	59.3%	38.8%	42.0%	39.2%	25.2%
逆輸入比率	25.7%	61.1%	30.5%	48.6%	10.6%	11.1%

業種別製造業出荷海外比率（季節調整済）の推移

主要4業種では、電気機械工業、化学工業、はん用・生産用・業務用機械工業の3業種の出荷海外比率が上昇。



海外市場比率（季節調整済）の推移

主要4業種では、電気機械工業、化学工業、はん用・生産用・業務用機械工業の3業種の海外市場比率が上昇。

